

田彦

Community TABIKO

第86号
R4.12.10 発行

■編集・発行
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128
田彦コミュニティセンター内
田彦コミセン 検索

背景は、田彦コミュニティまつりより

ジャズダンス

小学生の躍動感のある「ヒップホップ」の上手さにびっくり!!

いよいよ本番。
気持ちを合わせて、決めポーズ!!

フォークダンス

演歌で踊りを披露、ちょっとした「ズレ」はご愛嬌

第7回
地域ふれあい
芸能発表会

10月1日(土)

10月1日(土)ワークプラザ勝田にて一旦延期になった「第7回 地域ふれあい芸能発表会」が開催されました。フォークダンスをはじめ11組が舞台上に上がり歌や演奏、踊りを発表しました。中には「アンコール」の掛け声もかかるなど皆さん日頃の練習の成果を精一杯披露しました。

太極拳

動きが優雅で脚筋力、バランス能力、全身持久力の向上に効果ありそう

ハーモニカ演奏

ビブラートも上手く聞き入りました

民舞

凛々しい演舞、見応えがありました

合唱

7人の美しいハーモニーが心に響き堪能しました「アンコール」のコールも納得!!

ハンドベル

「トリ」は田彦中学校のハンドベル、美しいベルの音が聴衆の心に響きました

1年生のせいかちょっと緊張気味!

コミュニティ
ひろば

地区の自慢ばなし

古賀 久美子

2022年10月14日鉄道開業150年。我が地区には、全国に誇る魅力のある場所がある。そのひとつにJR勝田車両センターがあり、白土所長にお話を伺いました。

勝田車両センターは常磐線電化にともない、昭和36年4月1日に開設して61年。東京から100km圏内で県庁所在地の水戸近郊の地として当地に決まったそうです。中心業務は車両の保守と清掃で、従事する方はグループ会社を含め約290名。

電車の種類には、交流電車と直流電車があり、両方に対応できるのが交流電車です。その理由に石岡市に地磁気観測所があり、直流の大電流を流すと地磁気のデータ観測に影響を受けてしまうため交流電化とされました。

当センターは直流電化区間と交流電化区間を直通することができ、401系交流電車発祥の地であり、その碑が設置されています。現在も交流電車700両所有しており、その数は全国で一番です。

茨城国体に両陛下がお召列車で来県された際は、当センターに待機している車両をご覧になられた方もおられたのではなか。いでしょう。か。「普段、菊の御紋の車両は走りませんがその前後の車両がたまに走行しているのですよ」との貴重なお話も聞けました。

これまで、白土所長が経験した東日本大震災での石油輸送列車運行や令和元年の台風19号の対応等社会インフラを支えたお話を今後もお伝えしたいと考えています。また、地元の子供向けに当センターの見学会を開催します。ますます楽しみです。

公園内2km強を一周するコース

元氣はつらつ歩く会

安全福祉部会

10月26日(水) 爽やかな秋晴れの中、笠間芸術の森公園で3年ぶりに「元氣はつらつ歩く会」が行われ、元氣なシニア27名が参加しました。

田彦囲碁愛好会

大山 満

田彦地区の囲碁好きが集まり、十数年続いている愛好会です。会員は、毎年数人の入れ替りはありますが常に女性も含め十数人の会員で構成され、その中にはいろいろな段級位者が在籍しています。

加耶と倭の交流にふれて

文化部会

10月23日(日) 3年ぶりに文化教室として国立歴史民俗博物館(歴博)で特別企画展示中の「加耶―東アジアを生きた、ある王国の歴史」を鑑賞してきました。

そこには鉄製品・金の装飾品などの展示が広がり、一気に5世紀ごろの世界に引き込まれました。特に金の装飾品の精密な細工に驚かされ、鉄製の馬具や鎧なども錆びているもののその形の美しさに目を見張りました。

第2、4木曜日 午後 田彦コミセンで開催しています。

編集後記

今、世の中の暗いニュースが多い中、明るい出来事を求めたい気持ちになります。ようやく多くの行事の中止が続く日々から感染対策をしての開催が徐々に出来るようになってきました。

制限下での各種イベントなどの活動であっても色々な明るい感動が生まれます。改めて「平常の活動」が大切な事だったと多くの方が思われたのではないのでしょうか。

今回は対策と工夫をして実施された行事を中心に掲載させていただきました。

来年こそ！マスクの無い日常に戻り多くの笑顔を見えることを願っております。

寄稿いただきました皆さまありがとうございます。

加耶(かや)は日本が倭(わ)と呼ばれていた飛鳥時代から古墳時代に今の朝鮮半島の南部に存在した国です。倭は、海を越えて加耶との交流の中で大陸からの文化を吸収しながら、倭からは文化(須恵器、鏡など)を伝え、このような歴史が脈々とつながった結果、現在の私たちの生活があることに感嘆を覚えました。

